

ITI Section Japan
Certified Specialist for Implantology
(ITI日本支部公認インプラントスペシャリスト)制度

申請書類 事前確認シート

*この用紙の提出は不要です。

*記載漏れ・記載情報の誤りがある場合は、審査を行うことができなくなりますので、提出する前に必ず確認をしてください。

ページ	チェックリスト	内容	✓
-	全般	受付日が申請期間内である (当日消印有効) 訂正箇所には訂正印の押印がある 署名日・署名を除き、パソコンを用いて記入している 最新版の書類フォーマットを使用している	
1号様式 P.1	申請書	同封している 署名日が、「ITIフェロー/SCD推薦状」における署名日より後の日付である	
1号様式 P.2	履歴書 (1)	空欄がない 入会年月日が、ITI websiteプロフィールと一致している ITIメンバー在籍期間が、申請日より2年 (24ヶ月) 以上である 会費納入済期間が、ITI websiteプロフィールと一致している	
1号様式 P.3	履歴書 (2)	最終学歴と最初の職歴に空白期間がない * 1カ月単位の空白の場合も「留学中」、「国家試験準備中」、「開業準備中」など指定してご記載ください 職歴に空白期間がない * 1カ月単位の空白の場合も「開業準備中」「休職中」「異動手続き中」など指定してご記載ください ITI学術イベントの受講履歴に2回以上チェックがある	
1号様式 P.4	ITIフェロー/SCD推薦状 (1)	原本である	
1号様式 P.5	ITIフェロー/SCD推薦状 (2)	原本である	
1号様式 P.6	申請料納入領収書コピー	A4サイズのコピーを同封している	
1号様式 P.7	歯科医師免許証コピー	A4サイズのコピーを同封している	
1号様式 P.8	ITIメンバー履歴証明書	A4サイズのコピーを同封している	
1号様式 P.9	ITI学術大会名札等	受講履歴で申告したイベントの名札、または参加証明書のA4サイズのコピーを同封している (オンラインセミナーの場合は、ログインURL配信メールのコピー/スクリーンショットを同封している)	
1号様式 P.10	30症例一覧	記載の順番は A) 最終補綴装置装置日の古い順である または、 B) 同一患者の症例を含む場合の記載の順番は ①: 同一患者で欠損部位が多い症例 ②: ①の中で上顎→下顎 順 ③: 補綴装置装着の古い順 となっている 申請書の署名日を基準とし、最終補綴装置装着2年以前の症例が含まれていない 補綴装置装着日に未来の日付の症例が含まれてない 欠損部位に、歯式の記号 (けいせん (ㄱ ㄴ 等) の記載がある	
2号様式	20症例一覧	記載の順番は A) 最終補綴装置装置日の古い順である または、 B) 同一患者の症例を含む場合の記載の順番は ①: 同一患者で欠損部位が多い症例 ②: ①の中で上顎→下顎 順 ③: 補綴装置装着の古い順 となっている 最終補綴装置装着後、1年以上経過している 未来の日付の症例が含まれてない 欠損部位に、歯式の記号 (けいせん (ㄱ ㄴ 等) の記載がある パノラマエックス線術前撮影日の日付は、インプラント埋入の6ヶ月以内である 3号様式で詳細報告する症例に○をつけている	
3号様式	20症例中の5症例	写真はインプラント埋入直前6ヶ月以内のものである 写真の右上に症例番号を記入している	
共通	30/20/5症例	勤務医の先生が申請する場合は、申請や症例使用において所属長の了解を得ている	